

## 目白大学の学生が矢祭町で農業体験を行いました！

農作業・食品加工体験等を通して農業の現状に理解を深めることを目的として、令和元年8月26日(月曜日)から8月30日(金曜日)に矢祭町で、目白大学(東京都)の学生が農業体験研修を行いました。

参加した5名の学生は、3年生の女子3名と1年生の男子2名で、3年生は昨年も農業体験研修に参加しています。

研修4日目は有限会社甚右衛門でのひょうたん収穫体験、ミニトマトの栽培状況の見学、山村開発センターにてブルーベリージャム加工体験を行いました。参加した学生は、「(こういった体験は)新鮮だ。都会ではいちご狩りくらいしかしたことがない。」「毎年参加しているので、戻ってきたという感じがする。」など、強い日差しが照り付ける夏の暑さの最中の作業であっても、皆さん生き生きとした表情で話してくれました。先生からは、「苦手だった椎茸が食べられるようになった学生もいる」との嬉しいお話も。

研修期間中は、他にも、ゆず圃場の草刈り、そば打ち体験、滝川渓谷の散策などを行い、農業体験以外の場面でも、広く矢祭町の自然を堪能できたようです。

当事務所では、今後も目白大学と矢祭町との交流が発展し、町の活性化に繋がることを願い、支援してまいります。目白大学の皆さん、来年もぜひ福島県にお越しください！

ひょうたんを収穫して運びます。皆さん手慣れた様子。



ひょうたんは大きさによっても値段が変わるそうです。







チーム甚右衛門！いい笑顔ありがとうございます。



高信さんからミニトマトの品種説明を受けています。



ブルーベリーを丁寧に洗います。





鍋いっぱいブルーベリーに砂糖を投入！



鍋から目を離さず、灰汁を取る作業も丁寧に行います。



瓶詰め完了です！